

那覇港管理組合議会議長あいさつ

(那覇港管理組合議会議長)

このたび、那覇港管理組合議会議長に就任しました沖縄県議会議員浦添市区選出の赤嶺昇と申します。

那覇港は、沖縄県最大の港湾で毎年約1千万トンに上る貨物が取り扱われ、約70万人の乗客が利用しています。

最近では、大型クルーズ船の寄港が盛んになっており、本県観光産業へ大きく貢献しています。

本組合の平成24年度の主な事業は、

- 1、 臨港道路那覇2号線改修事業及び周辺事業 (5.8億円) 平成20年～24年度
 - 2、 社会資本整備総合交付金事業 (30億円) 平成3年～平成24年度
 - 3、 浦添ふ頭8号岸壁改修事業 (20億円) 平成19年～平成24年度
- などがあります。

那覇港管理組合議会として議会権能である議案や予算のチェックはもちろんですが、積極的に政策提言をするとともに県民に開かれた議会運営をめざし、県民目線の議会に取り組んでいく決意です。

県民皆様のご積極的なご提言をお待ち致しております。



那覇港の保安対策

総務部長 兼次 俊正

大型クルーズ船ボイジャー・オブ・ザ・シーズが7月5日に3,200人の乗客を乗せて那覇港に初入港致しました。8月1日まで4回の寄港がありましたが大きなトラブル等もなく、ホッとしています。

ボイジャー・オブ・ザ・シーズは、バース計画時点の想定船形を大きく上回るため、入出港や係留中の安全性の検討が那覇港利用促進協議会「航行安全部会」で行われております。この「航行安全部会」で定めた安全対策基準に則り、入出港が行なわれました。

第十一管区海上保安本部を始め、関係機関の皆様方のご協力大変ありがとうございました。さて、総務部は、管理部門を担っており、那覇港の保安対策について、紹介いたします。

2001年9月の米国同時多発テロを契機として、SOLAS条約（海上における人命の安全のための国際条約）が改正され、国際航海船舶（旅客船、総トン数500トン以上の貨物船）が利用する港湾施設において、条約に定められた保安対策を講じることが義務づけられました（2004年7月発効）。

那覇港においても、改正SOLAS条約に対応するため制定した国内法「国際航海船舶及び国際港湾施設の保安の確保等に関する法律（国際船舶・港湾保安法）」に基づき、国際外航船舶が着岸する新港ふ頭5号岸壁、7号岸壁、9号岸壁、10号岸壁及び泊8号岸壁に、立入制限区域及び制限水域を設定し、フェンス等の保安施設及び警備員による監視、出入り管理等の保安対策を那覇港埠頭保安規定に基づき実施しております。

テロの目標となり得る、人・物が行き交う港湾の水際をしっかりと管理し、港湾施設でのテロ等を未然に防止するため、合同訓練及び総合訓練を実施しております。

総合訓練では、第十一管区海上保安本部、那覇警察署、那覇市消防本部、沖縄総合事務局那覇港湾・空港事務所、運輸部船舶船員課、那覇国際コンテナターミナル株式会社、港湾運送事業者の各関係機関の皆様方のご協力を得まして、ふ頭施設内で起きた不審事案の関係機関への緊急通報、港湾従事者の避難誘導措置及び保安レベルの移行措置の手順等について訓練をしております。

平時より不測の事態に備えることを目的に、那覇港埠頭保安規定に則した保安措置を継続的に、かつ、的確に実施した結果、那覇港への外航クルーズ船、外貨貨物船等の入港、出港の際には、トラブル等の問題事案は発生しておりません。

また、那覇ふ頭及び新港ふ頭に、沖縄県警と協働して不審物の発見、テロ活動の抑止を目的とした監視カメラを設置しております。

那覇港管理組合では、今後も保安対策を推進し、施設運営を適正かつ安定的に行うことによって、安全で安心な港づくりに取り組んでまいります。

今後とも、関係機関の皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

那覇港管理組合議会の新たな顔ぶれ

(議会事務局)

那覇港管理組合議会は、沖縄県議会から5人、那覇市議会から3人、浦添市議会から2人の議員がそれぞれの議会で選出され、那覇港管理組合議会議員となっています。

今年6月10日に行われた沖縄県議会議員選挙にともない、那覇港管理組合議会議員も10人中6人が入れ替わりました。

沖縄県議会から狩俣信子議員、前田正明議員、糸洲朝則議員、具志孝助議員、赤嶺昇議員、浦添市議会から又吉栄議員が選出され、当組合議会議員となりました。

7月30日に臨時議会を開催し、新たな議長として赤嶺昇議員を選出しました。また、特別委員会の委員長に又吉栄議員、議会運営委員会の副委員長に狩俣信子議員を選出しました。

議席番号	役職等	議員名	備考
10	議長	赤嶺 昇(沖縄県)	
4	副議長	唐真 弘安(那覇市)	
1	那覇港湾調査研究特別委員会 委員長	又吉 栄(浦添市)	那覇港地方港湾審議会委員
2	議会運営委員会委員長	渡久山 朝一(浦添市)	
3	那覇港湾調査研究特別委員会 副委員長	清水 磨男(那覇市)	監査委員
5		山川 典二(那覇市)	那覇港地方港湾審議会委員
6	議会運営委員会副委員長	狩俣 信子(沖縄県)	
7		前田 政明(沖縄県)	
8		糸洲 朝則(沖縄県)	那覇港地方港湾審議会委員
9		具志 孝助(沖縄県)	

新たに組合議会へ加わった議員の皆様に那覇港のことをもっとよく知ってもらうため、8月9日に特別委員会を開催し、執行部から那覇港の概要について説明を受けた後、那覇港港湾施設の視察を陸上、海上の双方から行いました。



アジア最大級の客船ボイジャー・オブ・ザ・シーズ号那覇港にニーハオ！

(企画建設部企画室)

皆さんはアジア最大級のクルーズ船をご覧になれましたか！？

平成 24 年 7 月 5 日の初寄港を皮切りに、7 月 16 日、21 日、8 月 1 日の計 4 回、総トン数約 13 万 7 千トン、全長約 311 m (全長は沖縄県庁の横幅のなんと約 2 倍!!) のボイジャー・オブ・ザ・シーズ号 (米国ロイヤルカリビアン社) が、延べ 1 万 3 千人以上の乗客を乗せ、那覇港大型旅客船バース (通称若狭バース) に接岸しました。



岸壁上及び船内では那覇クルーズ促進連絡協議会 (那覇市、那覇市観光協会、県、沖縄コンベンションビューロー、那覇港管理組合など 12 の機関、企業で組織) により様々な歓迎イベントが実施されました。



7 月 5 日には初寄港を記念し、船内にて関係者による歓迎式典を開催しました。入出港の際は毎回県民の方による勇壮なエイサーなどの演舞が披露されました。7 月 5 日、16 日の出港時には落日後の夜空に映える花火が打ち上げられ、ささやかに華やかに見送ることができました。乗船されていた方の話によると、船内では歓声が上がリ、大好評だったそうです。

また、7 月 16 日には沖縄総合事務局那覇港湾・空港整備事務所と当管理組合主催により、海の日イベント第 1 弾として、船内見学会を実施しました。抽選により選出された 50 名が広い船

内を見学し、豪華でアクティビティも充実した船内の様子に、口々に実際にクルーズの旅に参加したい、とおっしゃっていました。

他にも、大きなニュースとして、これまで要望が多かった、沖縄型特定免税店の仮設免税品受取所が 7 月 16 日に大型旅客船バース上にオープンし、クルーズ船ご利用の方でも免税品のショッピングをお楽しみいただけるようになりました。乗客の方にも大変喜んでいただき、今後、那覇港へのクルーズ船寄港に、ますます勢いがつくものと期待されております。



ボイジャー・オブ・ザ・シーズの寄港に際しては、90 台にのぼるバスの出入りと乗客の安全、周辺道路の渋滞、ショッピング街の渋滞、入国審査の長時間化など、様々な問題が懸念されておりました。しかし、問題点の一つ一つの対策に関係機関・団体と共に 1 年以上前から取り組んだ結果、大きな混乱、事故などなく、今年の寄港を全て無事お見送りする事ができました。

来年は同船に加え、同じクラスの姉妹船、マリナー・オブ・ザ・シーズ号の寄港も予定されております。2 隻合計で、年間 12 回 (平成 24 年 9 月 18 日現在) の寄港が予定されておりますので、今年見逃された方も、是非優雅で迫力ある船体を実際にご覧になられてはいかがでしょうか。きっと桁違いのスケール感到感動される事かと思っております。

～統計（平成 23 年）からみる那覇港の現状と課題～

（企画建設部計画課）

那覇港に関する様々な統計資料から那覇港の現状と課題を考えていきたいと思ひます。

（1）那覇港の位置づけ

- ・那覇港と那覇空港の取扱貨物量で、那覇港の占める割合は約 97%となっており、那覇港が県民生活を支える重要な役割を担っていることが読み取れます。

那覇港と那覇空港の取扱貨物量

（単位：トン）

年次	2004		2005		2006		2007		2008		2009		2010		2011		
		H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
那覇港の海上貨物	国内	8,733,412	8,607,681	8,463,445	9,250,143	9,257,899	9,074,355	8,875,562	9,176,631								
	国際	1,358,563	1,225,290	1,208,715	1,147,933	1,094,470	1,115,577	1,136,658	1,200,368								
	計	10,091,975	9,832,971	9,672,160	10,398,076	10,352,369	10,189,932	10,012,220	10,376,999								
那覇空港の航空貨物	国内	174,984	175,201	176,833	185,202	220,073	225,698	225,627	216,556								
	国際	2,365	2,439	2,109	1,910	1,894	22,671	149,644	143,683								
	計	177,349	177,640	178,942	187,112	221,967	248,369	375,271	360,239								
海上貨物／割合	国内	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	97.7%	97.6%	97.5%	97.7%								
	国際	99.8%	99.8%	99.8%	99.8%	99.8%	98.0%	88.4%	89.3%								
	計	98.3%	98.2%	98.2%	98.2%	97.9%	97.6%	96.4%	96.6%								

- ・県内重要港湾 6 港（那覇港、中城港、金武湾港、運天港、平良港、石垣港）に占める那覇港の公共貨物取扱量の割合は、内国貿易が約 7 割で、外国貿易が約 9 割となっております。

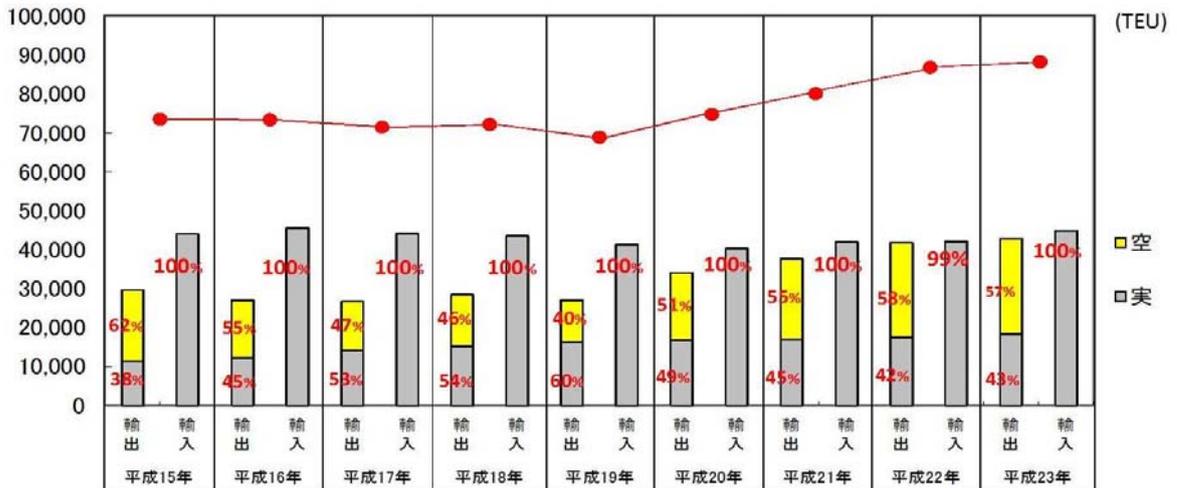
公共貨物量に占める割合	2004		2005		2006		2007		2008		2009		2010		2011		
		H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
那覇港	内国貿易	8,442,749	8,291,918	8,132,285	8,903,807	8,916,224	9,074,355	8,875,562	8,842,261								
	外国貿易	1,358,563	1,225,290	1,208,715	1,147,933	1,094,470	1,115,577	1,136,658	1,200,368								
	計	9,801,312	9,517,208	9,341,000	10,051,740	10,010,694	10,189,932	10,012,220	10,042,629								
重要港湾 6 港の合計	内国貿易	12,142,447	11,917,503	12,057,871	13,057,438	13,151,861	13,178,245	12,836,936	12,826,838								
	外国貿易	2,047,922	2,085,843	1,905,391	1,803,676	1,329,089	1,396,496	1,322,407	1,318,244								
	計	14,190,369	14,003,346	13,963,262	14,861,114	14,480,950	14,574,741	14,159,343	14,145,082								
那覇港の取扱貨物量の割合	内国貿易	69.5%	69.6%	67.4%	68.2%	67.8%	68.9%	69.1%	68.9%								
	外国貿易	66.3%	58.7%	63.4%	63.6%	82.3%	79.9%	86.0%	91.1%								
	計	69.1%	68.0%	66.9%	67.6%	69.1%	69.9%	70.7%	71.0%								

（2）国際流通港湾の機能強化

- ・平成 23 年においては、那覇港で取り扱った外国貿易コンテナは約 8 万 8 千 TEU と過去最高を記録しました。

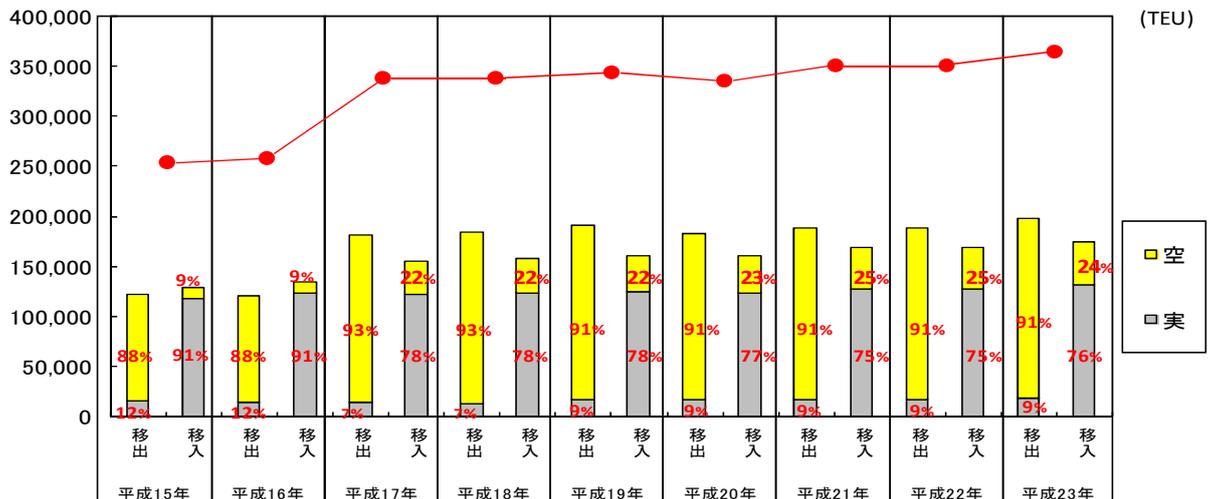
しかし、外国貿易のコンテナ貨物実入・空別貨物量の推移を見てみますと、沖縄からの輸出貨物が少ないため、片荷輸送となっており、総合物流センターの整備等による新たな産業の創出、取扱貨物量の増大が課題となっております。

課題解決に向けて、平成 24 年度よりガントリークレーンの増設や総合物流センターの可能性調査を実施します。



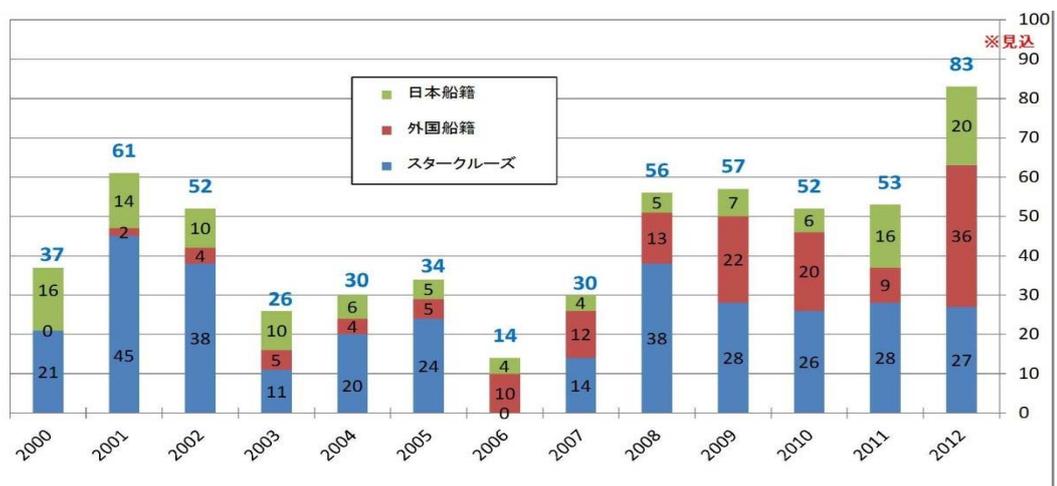
(3) 機能再編による内国貿易機能の効率化

- ・那覇港で取り扱う内国貿易総コンテナ貨物量は緩やかな右肩上がりです。しかし、外国貿易同様、空コンテナの割合が高く、移出貨物を増やしていくことが課題となっております。那覇港の各ふ頭機能を再編し、内国貿易機能の強化を目指します。



(4) 国際観光リゾート拠点としての機能強化

- ・那覇港は我が国有数のクルーズ船寄港地です。平成23年においては、外国船社運航クルーズ船寄港回数が石垣港に次いで、全国第2位となっております。クルーズ船寄港の促進を図るため、旅客の快適性及び利便性の更なる向上、歓迎セレモニー等の受入体制の強化に努めて参ります。



平成24年7月24日現在

「臨港道路若狭港町線」を港湾計画に位置づけました。

(那覇港港湾計画 一部変更)

(企画建設部計画課)

平成24年7月に臨港道路空港線の若狭地区から港町までの約2.2km区間を「臨港道路若狭港町線」として、港湾計画に位置づけました。

「臨港道路若狭港町線」は、那覇港の臨港交通機能を強化し、港湾物流の円滑化を図ることを目的とした、全区間橋梁形式6車線で泊大橋と同等の高さを有する道路です。

現在の臨港道路港湾1号線(泊大橋の道路です。)は、朝・夕のピーク時間帯を中心に日中も渋滞が発生しており、さらに、臨港道路空港線(那覇うみそらトンネルの道路です。)の供用も相まって混雑している状況がありました。

また、那覇港は沖縄県内重要港湾6港に占める貨物の割合も約7割と沖縄県の経済を支える重要な港湾であり、那覇港を起点として発生する物流の流れを確保するためにも必要な臨港道路となっています。

この臨港道路は、沖縄西海岸道路の一区間としても位置づけられていることから国直轄事業として整備していくこととなりますが、那覇港管理組合としても積極的に協力し、事業を促進していきたいと考えております。



一部事務組合港湾運営協議会定例会議を開催しました！

(総務部総務課)

一部事務組合港湾運営協議会の平成24年度定例会議が、去る9月6(木)から7日(金)にかけて、当管理組合において開催されました。

一部事務組合による港湾管理は全国で6団体あり、那覇港もそのうちの一つです。

会議では、はじめに各港から現状と課題の報告があり、その後各港からの提出議題について意見交換をしていただきました。様々な意見や白熱した議論など大変有意義な会議でした。

翌日は天気にも恵まれ、絶好の現場視察日和でした。那覇港の主な施設をバスで巡りましたが、そこでも活発な質疑等がありました。

今回、6団体が一同に会し様々な意見を出し合い、相互に理解を深めることができ、連携を図ることの大切さをあらためて感じたところです。

次年度は、名古屋港での開催が予定されております。来年もぜひ盛り上げていただきたいと思います！

【協議会構成団体】

苫小牧港管理組合、石狩湾新港管理組合、名古屋港管理組合、四日市港管理組合
境港管理組合、那覇港管理組合



【定例会議の様子】



【現場視察の様子】

那覇港とびっくす



那覇港地方港湾審議会委員へ
委嘱状を交付しました！

5/31(木)

- 那覇港地方港湾審議会委員の任期満了に伴い、16名の委員へ新たに委嘱状を交付(平成24年5月31日付け)しました。また、会長に津嘉山正光委員(琉球大学名誉教授)、副会長に平敷徹男委員(琉球大学名誉教授)が前回に引き続き再任されました。



海の日イベント開催

7/16,8/4,8/11

- 沖縄総合事務局那覇港湾・空港整備事務所と那覇港管理組合の主催により、抽選で選出された県民合計約170名を対象に、7/16にボイジャー・オブ・ザ・シーズ号、8/4、8/11にスーパースター・アクエリアス号の船内見学会、パネル展、講演会等(講演会は8/4、8/11のみ)を実施しました。



ORION II 初寄港

7/24(火)

- オリオン・エクスペディション・クルーズの運航するORION II (総トン数4,077トン、乗客定員100人)号の初寄港を記念し、歓迎式典を開催しました。



平成24年度社会実験に参加する
輸出貨物の荷主募集

8/11(土)

- 「那覇港物流ビジネスモデル導入事業」の一環として、平成23年度に引き続き小口で輸出(ドライ、リーファー)、新規の貨物(県産品)をコンテナ単位で輸出する社会実験を実施し、コスト、リードタイム等を検証するため、社会実験に参加する輸出貨物の荷主を募集しています。
- 外国へ貨物輸出を考えている荷主の皆さんの応募をお待ちしております。

平成23年度パニング実施状況
香港への海上混載輸出実験に多くの荷主が関心



那覇港の経済効果調査公表

8/13(月)

- 那覇港が沖縄県経済に及ぼす経済効果について具体的な数字を把握し、沖縄県民の同港に対する理解を深めていただくことなどを目的に那覇港の経済効果についてとりまとめました。(詳細は那覇港管理組合HP(<http://www.nahaport.jp>)をご参照下さい。)

クルーズ船寄港の状況(泊ふ頭大型旅客船バース)

那覇港とびっくす



浦添ふ頭2号上屋建築に着手

8/23(木)

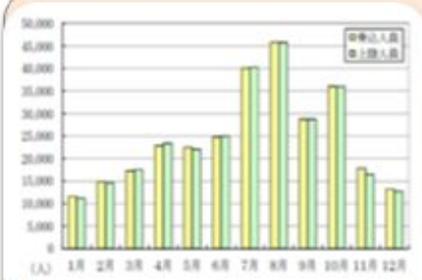
- 那覇港浦添ふ頭地区において、2号上屋(延べ床面積約4,500m²)の建築工事が着手されました。平成25年3月の完成を目指しており、供用後には貨物取扱量の増加が期待されます。



「那覇港港湾機能再編計画」に係る説明会

9/10(月)

- 泊ふ頭を利用している周辺離島の渡嘉敷村・座間味村・粟国村・渡名喜村・久米島町・南大東村・北大東村の首長と議長に対し、那覇港港湾機能再編計画についての説明会を行いました。
- 今後もお互いに情報共有をしていこうとの活発な意見交換がなされました。



那覇港の統計

9/25(火)

- 那覇港の統計(平成23年)を9月25日(火)に那覇港管理組合ホームページ上に公開します。(http://www.nahaport.jp)
- 昨年のデータ、過去からの変遷が掲載されていますので、グラフと表で那覇港の動向をご覧ください。
- 今号(9月号)に関連記事も掲載されていますので、あわせて、ご覧ください。

那覇港管理組合 今後の主な予定

- アジア・クルーズコンベンション参加(9月末)
- 那覇港管理組合議会先進地視察(10/15～)
- 沖縄県港湾協会理事会総会(10/19)
- 那覇港管理組合議会11月定例会(11月下旬)

～那覇港管理組合議会のうごき～ 7月臨時会の開催(7/30)

- 沖縄県議選こどもない空席となっていた議長等を新たに選出しました

8月定例会の開催(8/21～23)

下記の議案が可決されました。

- 議案第1号：
那覇港管理組合港湾施設管理条例の一部を改正する条例
- 議案第2号：
波の上ビーチ管理条例の一部を改正する条例
- 議案第3号：
那覇港管理組合一般会計補正予算(第2号)



那覇港写真館



打上花火でお見送り（ボイジャー・オブ・ザ・シーズ号）



夕日に向かって出港するボイジャー・オブ・ザ・シーズ号



とまりんフェスタ 2012



波の上緑地内の美川憲一



波の上緑地の水中写真

